

令和4年度
予算特別委員会 **局別審査**【第2分科会】令和4年3月8日

福祉局 高齢者のフレイル(介護)予防について

**住本
質疑**

コロナ禍により、高齢者の外出自粛に伴い、他者との交流機会が減少している状況が約2年間続いている。フレイルの進行は、高齢者自身の生活に大きな影響を及ぼすとともに、神戸市全体の活力低下にもつながりかねないと危惧する。



昨年の調査では、運動機能が下がった人は2ポイント増え、気分が沈んでいる傾向の人は4ポイント増えたというデータがある。令和4年度は、フレイル予防・介護予防の観点から、これまで以上に力を入れて取り組みを進めるべきと考えるが。

**森下
局長**

令和4年度の取り組みとしては、スマートフォンを活用したオンラインカフェや、それに加えてメール、インターネットを使ったICT活用を合わせた取り組みを進めたい。更に、ホームページで体操や脳トレなどのコンテンツも発信したい。また、外出して介護予防をすることは非常に重要であり、様々な機会での情報発信が必要ということで今年の1月の「広報こうべ」でフレイル特集を行った。楽しみながら継続して社会参加できるよう運動学習など個人にあった取り組みをタイプ別に紹介した。今後は「つどいの場※1」をインターネットで情報公開を準備している。

**住本
要望!**

高齢者が積極的に外出機会を増やすような仕掛けづくりに取り組むべきである。そのためには他部局間の連携は必須である。

例えば、文化スポーツ局は様々なイベントや行事を企画している。神戸市立博物館でのイベント案内や、埋蔵文化財センターでのボランティア紹介など、後は民間との連携も必要。例えば、山陽電鉄などの月毎のイベント紹介。「山陽ハイキング」「平日ウォーキング」などは気軽に参加できるのではないかと。福祉局として必要な方に必要な情報発信を適時にするよう要望する。

Check!

※1 つどいの場：
地域住民が主体となり、高齢者の方が日常生活の中で気軽に参加していただける活動の場のこと。

令和4年度 第1回定例会市会 令和4年2月24日
新年度予算会派代表質疑を行いました

▶ 神戸市会HPで録画中継がご視聴できます ▶



Q2 コロナ禍における再犯防止施策について

**住本
質疑**

新年度予算においてコロナ禍での生活困窮者への支援として、困窮を理由とした再犯防止のため、出所者等への自立・社会復帰に対する支援を検討することだが、具体的にどのように支援していくのか見解を伺いたい。

**久元
市長**

再犯を引き起こす大きな要因としては、仕事や住居の確保ができないなど、生活をする上での課題を抱えている場合が多く、結果的に生活困窮状態にあることが指摘されており、そういう場合には、区役所の「暮らし支援窓口」での相談対応を行なってきたところである。今後は更生事業に協力いただく、出所者等を積極的に雇用してくれる「協力雇用主※2」を拡大することが非常に重要である。現在でも、行政への一般入札参加資格や一般競争入札等での「協力雇用主」事業者の加点制度を設けて拡大を図っているが、この部分の更なる拡充を含め効果的な制度構築に向けての検討をしていきたい。また、**再犯防止に繋げるべく、庁内の実務者を中心とした検討委員会の設置を行いたい。** 検討会では、保護観察所や保護司会等の方々、外部の有識者へのヒアリングを実施し、出所者の現状把握や国県を含む既存の支援政策や役割分担の整理を行い効果的な支援策を検討していきたい。

**住本
要望!**

居住先については、神戸市の支援で更生保護施設である「神戸学而園」が建て替え完了し、視察に行かせてもらった。

雇用の問題はコロナ禍の影響で、「協力雇用主」事業者も増えていないし、それらの事業者も雇用を減らしている。大阪市では市保護司連絡協議会と協定を結び、雇用先の確保として保護観察対象者等を臨時職員として任用し社会復帰を支援している。検討会でも他都市の事例も研究して取り組んでいただきたい。

Check!

※2 協力雇用主：刑務所出所等などの犯罪を犯した人を積極的に雇用し、再犯を防止するため社会復帰に向けての取り組みに協力いただく事業者。



Q3 コロナ禍における物販移動販売店・キッチンカーの事業支援について

**住本
質疑**

新年度より、JR三宮南側駅前広場において、キッチンカー事業者などが出店できる場所を通年で提供し、企業支援・定着促進を図るとされており、コロナ禍の影響で売り上げが減少している事業者には有効な取り組みと考える。

一方で、本市が関連するイベント等を実施するに際し、各局がバラバラに出店募集している例が見られる。キッチンカーを含む物販移動販売店の出店募集の情報は一元化や共有化が必要ではないか。多部局間連携のもと、情報を一元化して出店しやすい環境づくりを行い、各事業者の販路拡大に繋げるべきと考えるが。

**今西
副市長**

これまでキッチンカーにおいては経済観光局と都市局でそれぞれの趣旨で取り組みを行っていた。ご指摘いただいたように、現状は分かりにくくなっていた。令和4年度よりは、**経済観光局に窓口を一本化したいと考えている。** 支援対象にキッチンカーを含む移動販売車に広げ、出店場所の調整や利用者への広報などを一元的に実地したい。また、移動販売車関連の事業紹介の専用ホームページを作成し、出店情報、広報ツールとして活用いただける他、出店者と土地オーナーのマッチングを行い出店場所の調整する機能も持たせたい。市内の移動販売車の出店地図も表記して、利用者の後押しをすることで、起業支援定着促進を図ってきたい。

**住本
要望!**

キッチンカーや移動物販店などの情報一元化は市民にとっても利便性が良くなる取り組みである。新年度は、地場産応援クーポンという割引プレミアムクーポンも発行される予定であり、地場産品の移動販売店とこのクーポンの連携したイベントなども検討して、落ち込んだ地域経済活性化に取り組んでいただきたい。



**更生保護施設
「神戸学而園」に
(こうべがくじえん)
視察に行きました。**

ここは、兵庫県内に3箇所ある更生保護施設のうち神戸市内唯一の施設であり、犯罪や非行を犯した人を一定期間保護して、社会復帰を助け、再犯防止するという重要な役割をもった施設です。市の計画道路拡張工事に伴い、新築移転されました。建設費の一部補助など議会を通じて神戸市に要望し実行がなされたため、建設費の目処が立ち、令和4年1月に完成しました。定員は20名となっております。



● 市民の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております

公式サイト <http://www.k-sumi.jp>
E-Mail suma@k-sumi.jp

住本がずのり 検索
住本がずのりオフィシャル Facebook

● 発行：日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号1号館29階
TEL: 078-322-0185 FAX: 078-322-0184
神戸市須磨区支部
〒654-0051 神戸市須磨区月見山本町2丁目6番15号
TEL: 078-735-8231 FAX: 078-735-8231

住本がずのり(須磨区選出)

市政相談
受付中

